



全国曹洞宗青年会の 活動紹介(八)



増上寺での集合写真

国際委員会

国際委員会の国際交流事業

「日本仏教文化体験ツアー」

全国曹洞宗青年会 国際委員長 村上徹信

新年第一回目の全国曹洞宗青年会委員会（以下、全曹青）紹介は、国際委員会です。第二十三期国際委員会のテーマは、「日本でできる国際活動」と題しまして、日本仏教文化体験ツアーや坐禅会で使用する英会話教室など、東京オリンピック・パラリンピックを見据えたインバウンド事業を展開するとともに、各委員会と連携を図りながら、出版物の作成の提案をしております。

また、現在、全曹青から、大乘仏教圏および日本初となる世界仏教徒青年連盟（WFBY）会長を輩出しており、その他、顧問・副会長・事務局次長・会計次長の四名がWFBY執行部として活躍しております。

それでは、国際委員会の事業のひとつ、「日本仏教文化体験ツアー」を紹介いたします。

マレーシア最大の仏教青年会であるマレーシア仏教青年会（以下、YBAM）より、WFBYを通じてW



九品寺インターナショナルスクールで

F B Y日本センターである全日本仏教青年会に日本仏教文化ツアアの依頼があり、全日本仏教青年会の国際委員会を担当する全曹青が主管団体となり、令和元年八月二十六日より八月三十日まで、ツアアを開催いたしました。

八月二十六日に来日したY B A M一行十五名は、芝の浄土宗大本山増上寺にて一般参拝をした後、敷地内にある公益財団全日本仏教会を表敬訪問し、戸松義晴全日本仏教会事務総長から日本仏教についての説明と歓迎のレセプションを受けました。

その後、東京タワー周辺を散策し、増上寺で夕食を摂り、一日目の宿、浄土真宗本願寺派築地本願寺檀信徒会館へ向かいました。

二日目は、築地本願寺の朝の行事に参加した後、築地市場周辺を散策し、福島県いわき市に高速バスで向かい二日目を終了いたしました。

三日目は、福島県いわき市の浄土宗九品寺附属幼稚園インターナショナルスクールの園児とマレーシアの歌や踊りで交流を深めました。曹洞宗醫王寺で大施食法要に参加し、浄土宗旧名越派本山専称寺を参拝したのち、フラガールで有名な「スバリゾートハワイアンズ」を観光し、宿である醫王寺で、略式ながらも曹洞



茶道体験の様子

宗の司式に則った食事作法で精進料理をいただきます。夕食後、坐禅のレクチャーを国際委員から受け、夜坐を勤めて終了いたします。

した。

四日目は、五時起床、朝の行持を勤め、日本の伝統文化の体験を醫王寺住職村上徳栄老師講師のもと、旧磐城平藩に伝わる御家流茶道、香道の体験をいたしました。茶道では、参加者一人一人が自分でお茶を点てる体験をし、香道では、平安の世から伝わる宮中の雅な文化を体験することができました。

また、今回のマレーシア人参加者の全てが華僑ということ、漢名を持っており、醫王寺住職から、ひとりひとりの名前の墨書をプレゼントされておりました。私たち国際委員会は、外国人との英語を通してのコミュニケーションは勿論のことですが、それ以上にたとえ英語が堪能ではなくとも、違う宗教を信仰する方でも、互いの文化を敬い、少しの勇気をもって相手の懐に飛び込んでいくことが大事なのではないかと思います。



●執筆者プロフィール
国際委員長
村上徹信

曹洞宗福島県青年会所属
第20期に国際特別委員、第21期に心の傾聴委員。また、第21期・第22期には全日仏青（全日本仏教青年会）特別委員会を務める。